



Info Mart

〔自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ〕 04-2998-7777 | <http://www.muse-tokorozawa.or.jp>

vol. 106

新たなミューズの幕開け! ▶ P1

いよいよ

2020年4月

リニューアル
オープン!

第4代ホールオルガニスト決定! ▶ P3

ベートーヴェン生誕250周年 ▶ P5

新たなミューズの幕開け! ～改修工事がついに終了～



1年4カ月の休館を経て、ついに2020年4月にリニューアルオープンを迎える所沢ミューズ。長期休館中に何が起きていたのかご紹介させていただきます!

開館以来、初のパイプオルガンのオーバーホール!

日本最大級の規模を誇る所沢ミューズのパイプオルガンは、ヨーロッパでも屈指の名門リーガー社が製作した名器。ウィーンのシンボルであるシュテファン大聖堂やウィーン・フィルの本拠地ウィーン楽友協会大ホール、日本ではサントリーホール、オルガンが同社による兄弟楽器ということとなります。

所沢が誇る名器のオーバーホール(分解・再組立て・再整備)を、1993年の開館以来初めて実施しました。オルガンケースから、巨大なパイプを一本一本外してパイプ内のホコリや汚れを取り除き、自身の重みで変形してしまったパイプの形を丁寧に修復します。パイプの総数はなんと5563本! 何人ものオルガンビルダーが分担しても途方もない作業なのです。

最高のパフォーマンスを引き出す 整音と仕上げ!

世界的なオルガニストが演奏する所沢

ミューズのオルガンには、演奏者の最高のパフォーマンスを引き出す最高のコンディションと、聴衆に向けての最高のパフォーマンスの両方が求められます。オーバーホールの作業項目は数えきれないほど多岐にわたりますが、そのいくつかをご紹介します。

1つ目はオルガンの中心部分、人間の「肺」にあたる「ふいご」の修復です。5563本のパイプを壮大に鳴らすためには、巨大な「ふいご」と空気の量を調整する伸縮性に富んだ皮が必要ですが、25年間継ぎはぎで補修してきた皮を一新し、力強く新鮮な「肺」を取り戻しました。2つ目は音色のブラッシュアップ。整音作業です。整音とはパイプの音、特に音量・音色・発音の質を整えることです。調律とはまったく別の作業ですが、音を作り上げるうえで深く関連しているため、整音と調律を交互に行って作業し、理想の音に近づけていきます。美しい音色を求めて妥協のない作業が行われました!

ほかにも様々な箇所を修理して美しい音色と響きにより磨きをかけました! また、地震等によるパイプの落下事故を防止する工事も行われました。

公共ホールでは全国初! 吊天井の耐震補強で大臣認定!

大・中・小ホール天井は、東日本大震災を受けて国土交通省が新たに定めた安全基準を満たした天井となりました。なかでも大ホールの天井は優れた音響性能を維持するために、公共ホールとしては全国初となる国土交通大臣の認定取得による方法で工事が実施されました。もともと大ホールは世界一音響性能が良いとされるウィーン学友協会大ホールをモデルとして建築され、シューボックス型になっていきます。シューボックス型の特徴はその名の通り靴箱型になっていることで、ステージから出た音は天井や壁を反射しながら進んでいき、豊かな響きを生み出します。ミューズの響きの素晴らしさは、世界的に有名な指揮者ヴァレリー・ゲルギエフも絶賛するほどです!!

さらなる音響性能の向上 小ホールの天井の形状について

小ホールも大ホールと同じく改修工事前から音響性能の良さに定評がありました。さらなる音響性能の向上を目指して、天井の形が「お椀型」から「階層型」に改修されました! 改修の前と後ではその違いは一目瞭然です。実際に小ホールにお越しいただき、違いを実感してみてください!

長時間の公演でも 快適にお過ごしいただける座席

大ホール、中ホール、小ホールそれぞれの座席のクッションの張替えを行いました。座り心地も良くなり、これまで以上にミューズでの公演を快適にご覧いただけることでしょう! 傾斜や段差が急な通路側の座席の背面には手すりを取りつけられ、「安心・安全」になりました。

さらに快適なホールへ

いままで、中ホールまでは階段、小ホールまでは緩やかな傾斜を上らなくてはなりませんでしたが、中ホールの中と外にエレベーターを1台ずつ、各ホールをつなぐ回廊にはエレベーターとエスカレーターが設置され、どなたでも移動がしやすくなりました!

新しくなった所沢ミューズをご覧いただき、「どこが変わったの?」と、思われる方もいらっしゃると思います。今回の工事は見えない部分の修理が多かったのが事実ですが、目に見えるデザインを変更することによって音響の質を下げないように、「デザインは変更せず音響の質を向上させたい」という狙いがそれにはあったからです。これまでよりも充実したイベントを皆様へお届けしていきますので、ご声援よろしくお願いたします。

リニューアル・オープンという門出を迎える所沢ミューズ。新たな幕開けです!



- 1 オーバーホール作業のための足場
- 2 分解されたパイプたち
- 3 パイプを修復・補強中・・・
- 4 公共ホールでは初の大臣認定された大ホール天井
- 5 小ホールの天井はお椀型から階層型に
- 6 すべての座席のクッションを張り替えました
- 7 各ホールをつなぐエスカレーター
- 8 中ホール前に設置されたエレベーター

第4代ホールオルガニスト決定!

世界最高峰 シャルトル国際オルガンコンクール優勝

2012年にオルガン界最高峰のシャルトルのオルガンコンクールにてグランプリを獲得したオルガニスト! 優勝後はフランスを中心に欧州各地のオルガンフェスティバルに招待され世界中での演奏活動をスタートさせました。東京交響楽団や東京フィルハーモニーとの共演や母校の東京芸術大学オルガン科にて助手を務めるなど、国内でも積極的に活動を行っています。

みはら まり はらだ まゆ
所沢ミューズ 第4代ホールオルガニストに、三原麻里、原田真侑が就任することが決定しました! 2020年4月よりパイプオルガンスクールの講師をはじめ、コンサートへの出演、夏休みのオルガンイベントのご案内役などパイプオルガンの魅力を発信していきます。

マルシャル=リテーズ国際オルガンコンクール 審査員特別賞受賞

2019年3月に東京芸術大学院を修了したばかりのフレッシュなオルガニスト! 大学院在学中にフランスへ留学しサン=モール音楽院にてオルガン・クラヴサンの両専攻を2018年夏に最優秀の成績で修了しました。また、2017年にはマルシャル=リテーズ国際オルガンコンクールにて審査員特別賞受賞し今後の更なる活躍が期待されます! 4月には三原さんより一足先に「お昼どき」パイプオルガン500円コンサート」に出演が決定していますのでお楽しみに!

Mari Mihara
三原 麻里

Mayu Harada
原田 真侑

皆様、こんにちは! 所沢ミューズの第4代オルガニストに就任いたします三原麻里です。第4代からは2人体制ということで、ミューズのオルガンの魅力も2倍出力できるのではとワクワクしています。オルガンの魅力は、やはり生で聴くこと。フランス留学中はいつも、オルガンが鳴り響く大聖堂で五感をフルに刺激されています。時には悲しい気持ちや、怒りの気持ちもオルガンの音と共に教会の壁に吸い込まれていったり…。皆様にもそんな体験をしていただけるようなコンテンツを提供していきたいです。

ホールオルガニスト就任のご挨拶



全てを包み込むような響きのシャルトルのノートルダム大聖堂のオルガン



サンクトペテルブルクでのリサイタル。ポスターの前で記念写真!



記憶のない2歳の頃からピアノに興味深々! (1993年、ミューズ開館の頃)



歴史あるヴェルサイユ宮殿のオルガンの音色に魅了されました!

皆様、こんにちは! 第4代ホールオルガニストに就任いたします原田真侑です。幼い頃の遊び場は母が弾いているピアノの下、(記憶にない時代から)いつの間にか音楽の欠かせない人生が始まっていたようです。初めてオルガンのコンサートに行ったときは、見えているパイプを必死で数えながらチラシの裏に絵を描いたことを覚えています。オルガンと過ごしていると、日々新たな魅力に気づかされ、また新たな世界へ連れていかれます。一人でも多くの方にこの感覚を味わい、楽しんでいただければと思います。

ホールオルガニスト就任のご挨拶

シャルトルのオルガンコンクールで優勝した後、フランスを中心に様々な場所で演奏機会がありました。南仏のカルカソンヌでの演奏会は、鳩が教会内に入ってきて演奏中にポツポツと鳴く(共演!)という、のどかなハプニングもありました。時には演奏先に友人たちが駆けつけてくれたことも。サンクトペテルブルクでは、モスクワに駐在していた友人と、有休をとった友人が演奏を聴きにきてくれて、語学面と精神面でサポートしてくれました。とても楽しい、心に残る思い出です。

思いがけない共演!?

今後のミューズ出演情報

“お昼どき”パイプオルガン500円コンサート

4月23日(木) ①11:00 ②14:30

アークホール

料金◆¥500 (当日ホールでお支払い)

出演◆第3代ホールオルガニスト 梅干野安未

第4代ホールオルガニスト 原田真侑

曲目◆1回目 ミュージカル

「サウンド・オブ・ミュージック」より ほか

※0歳のお子様から聴いていただけます。

2回目 ワーグナー:『タンホイザー』より

「巡礼の合唱」 ほか

※未就学児の入場はご遠慮ください。

夏休み! ミューズ“とことこ”探検ツアー

7月23日(木・祝) ①9:30 ②12:30 ③15:30

アークホール

料金◆小中学生 ¥2,000

大人(付添)¥1,500

出演◆第4代ホールオルガニスト 三原麻里・原田真侑

※未就学児の入場はご遠慮ください。

留学中の貴重な体験の数々

“楽器の王様”と言われるオルガンは、一つとして全く同じ楽器はありません(人間と同じ...)。行く先々で新たな出会い、発見があることもオルガニストとしての醍醐味だと感じています。特に留学中は貴重な体験の連続でした。住んでいたバリだけでなく、フランス各地、ドイツ、オランダ...書き切れない思い出が数多くあります。どれも一番とは選べませんが、歴史的な楽器に触れたこと、素晴らしいオルガニストのアシスタントをさせていただけたことは、本当に得難い経験でした。常に多くの学びと感動を与えてくださった先生とオルガン、そして多様な芸術に感謝しつつ、これからも日々精進したいと思います。

BEETHOVEN 250th Anniversary 1770-2020

ベートーヴェン生誕250周年を彩る魅惑の公演

2020年はベートーヴェンの生誕250周年を祝う記念の年。世界中でベートーヴェンを集めた演奏会が予定されています。所沢ミュージアムでも、交響曲、協奏曲、室内楽、ピアノ・ソナタなど傑作の数々を、世界で活躍する一流アーティストたちが取り上げます！若き日の情熱みなぎる傑作から、苦難を乗り越えた晩年の名作まで、楽聖の音楽の神髄を感じてみてください。

交響曲第5番 ハ短調 op.67「運命」

ボン・ベートーヴェン交響楽団
ディルク・カフタン[指揮] フジコ・ヘミング[ピアノ]
6月20日(土) 15:00開演 アークホール **好評発売中**
全席指定 S席¥12,000 A席¥10,000 B席¥8,000(残席僅少) P席完売



ボン・ベートーヴェン交響楽団



「運命」が初演されたアン・デア・ウィーン劇場

「苦悩から勝利へ！」。暗く煩悶するような「運命の動機」に始まり、第4楽章では生の喜びを謳歌するように、高揚感に満ちた強いクライマックスが築き上げられる交響曲第5番「運命」。交響曲という枠組みのなか、人間ドラマや精神世界を表現した傑作で、ベートーヴェンはロマン派への扉を大きく拓いたのだ。楽聖ベートーヴェンの生まれ故郷、ボンの名門オケによる「運命」、そして名手フジコ・ヘミングによるモーツァルトのピアノ協奏曲にも期待が高まる！

交響曲第9番 ニ短調 op.125「合唱つき」

読売日本交響楽団 セバ스티アン・ヴァイグレ[指揮]
12月27日(日) 15:00開演 アークホール **発売日:5月23日(土)**
全席指定 S席¥8,000 A席¥7,000 B席¥6,000 P席¥5,500



「第9」が初演されたケルトナートーア劇場



ドイツ音楽の世界的名匠ヴァイグレ

声楽を導入するという大胆な発想により、交響曲の歴史に革命をもたらした「第九」。シラーの詩にのせて歌われる「人間賛歌」は、人類最大の音楽遺産と言えよう。読響の常任指揮者ヴァイグレはウィーン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場で絶賛を浴びてきた、言わばドイツ音楽のスペシャリストだ。聴き慣れた名作から、新しい時代にふさわしい新鮮な響きを紡ぎ出してくれるだろう！

交響曲第7番 イ長調 op.92

ウィーン交響楽団
アンドレス・オロスコ=エストラーダ[指揮]
ヒラリー・ハーン[ヴァイオリン]
2021年3月7日(日) 15:00開演 アークホール
料金未定 **発売日未定**



交響曲7番を「舞踏の神格化」と評したワーグナー



全世界から注目を集めるオロスコ=エストラーダ

ワーグナーが「舞踏の神格化」と呼んで激賞した「第7番」。音楽史上のあらゆる交響曲のなかでも最も躍動感に富み、白熱のフィナーレを迎える。ベートーヴェンが後半生を過ごしたウィーンの名門オケと、いま最も注目すべき才能、オロスコ=エストラーダの熱演にアークホールは興奮のつぼと化すだろう。ヒラリー・ハーンのブラームスにも要注目だ！

創造の軌跡

- 1770年(0歳) ドイツのボンに生まれる
- 1790年(20歳) ウィーンで活動を開始
- 1792年(22歳) ハイドンに弟子入り
- 1795年(25歳) 「ピアノ三重奏曲 作品1」を発表
- 1799年(29歳) 「悲愴」完成
- 1801年(31歳) 「月光」完成 難聴のはじまり
- 1802年(32歳) ハイリゲンシュタットの遺書
- 1804年(34歳) 「英雄」完成
- 1808年(38歳) 「運命」「田園」「幽霊」完成
- 1809年(39歳) 「皇帝」「エリーゼのために」完成
- 1812年(42歳) 「交響曲第7番」完成
- 1818年(48歳) 「ハンマークラヴィーア」完成
- 1820年(50歳) 健康状態が悪化
- 1824年(54歳) 「第九」完成
- 1827年(57歳) ウィーンで死去

ピアノ・ソナタ第29番 変ロ長調 op.106「ハンマークラヴィーア」

コンスタンチン・リフシツ[ピアノ]
5月6日(水・休) 15:00開演 アークホール
全席指定 S席¥2,500 A席¥2,000 **好評発売中**

ベートーヴェンが生涯に残した32曲のピアノ・ソナタのなかで最大の規模を誇る傑作。また、当時最新のピアノの性能を極限まで追求した革新的な作品でもある。難聴が進行し、音が聴き取れなくなったベートーヴェンならではの思索的な響きと卓越した構成力が光る。バッハの対位法を得意とする天才リフシツが、長大な第4楽章のフーガの各声部を鮮やかに描き出してくれるだろう。



ハンマークラヴィーアのスケッチ



コンスタンチン・リフシツ

交響曲第3番 変ホ長調 op.55「英雄」

尊敬するナポレオンを称えて作曲され、そして皇帝となったナポレオンに失望し、献呈を取りやめて「ある英雄の想い出に」と書き添えられたと

伝えられる未曾有の大作。第2楽章の葬送行進曲や第3楽章の躍動感溢れるスケルツォの導入など、交響曲の歴史に革新をもたらした。ハンガリーNo.1の名門オケと、今年傘寿を迎える炎の指揮者コバケンが血沸き肉躍るような熱演を聴かせてくれる！



「英雄」の自筆のタイトルページ



傘寿を迎える世界的名指揮者・小林研一郎

ピアノ三重奏曲 第7番 変ロ長調 op.97「大公」 第5番 ニ長調 op.70-1「幽霊」 第1番 変ホ長調 op.1-1

ハンブルクトリオ[ピアノ三重奏団]
5月20日(水) 15:00開演 アークホール
全席指定 ¥2,300 **好評発売中**

巨匠ハイドンに才能を認められた若きベートーヴェンは、楽都ウィーンに進出し華麗なピアノ演奏で注目を集めた。そして記念すべき最初の作品が「ピアノ三重奏曲」だったのである。それゆえ、ほとんどのピアノ三重奏曲はベートーヴェン自身のピアノで初演され、高度な演奏技巧がちりばめられている。また、難聴を発症したベートーヴェンの最後の公開演奏がピアノ三重奏曲「大公」だった事実にも、何か運命的なものを感じずにはられない。



ヨーロッパで絶賛を博すハンブルクトリオ



若きベートーヴェンの肖像

ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」

ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団
小林研一郎[指揮] 金子三勇士[ピアノ]
11月23日(月・祝) 15:00開演 アークホール **発売日:5月13日(水)**
全席指定 S席¥8,000 A席¥7,000 B席¥6,000 P席¥5,500

古今のピアノ協奏曲のなかでも「皇帝」と呼ぶにふさわしい

風格を誇る。しかし、あまりの革新性と大きさによって初演は失敗。以降、ベートーヴェンの存命中に再演されることはなかった。不世出のピアニスト、リストはいち早く「皇帝」の真価に気づき、演奏会で取り上げたことで正当な評価を得るに至ったのだ。ハンガリーの血を引く俊英、金子三勇士がハンガリーの名門オケをバックに、楽聖の大作から情熱的な響きを聴かせてくれるだろう！



ハンガリーの血を引く俊英・金子三勇士



「皇帝」をいち早く評価したリスト

ステージレポート

Stage Report

12月13日
~2月8日

2019
12/13 (金)

荘村清志「ギター」

ギターの未来を切り拓く伝説の巨匠！
(新所沢東まちづくりセンター 講堂)
曲目／タレガ:アルハンブラの思い出
スペイン民謡:愛のロマンス(映画「禁じられた遊び」より)
ビートルズ(武満徹 編):イェスタデイ
(「ギターのための12の歌」より) ほか

デビュー50周年を迎えた日本を代表する伝説のギタリストが身近なまちづくりセンターに登場。和やかな雰囲気の中、師イエベスとの出会いや作曲家・武満徹との思い出など微笑ましいトークを交え、名曲の数々をお届けしました。



杉山兄弟



荘村清志 [ギター]

15 (日) ■ 杉山兄弟 スーパーシャボン玉ショー
(吾妻まちづくりセンター ホール)

25 (水) ■ ケロポンズ ファミリーコンサート

(柳瀬まちづくりセンター ホール)
出演/ケロポンズ
曲目/エビカニクス、ひっつきもっつき、森のクリスマス、にじ ほか
音楽・体操を作るミュージックユニットのケロポンズ。みんなで息を合わせてエビカニクスを踊ったり、声を出して歌ったり、絵本の世界に魅了されたり…とたくさんのファミリーにご来場いただき会場は大盛り上がりでした！



ケロポンズ

27 (金) ■ 音まちコンサート Vol.14
梅千野安未「オルガン」×
上野由恵「フルート」

(所沢市役所1階 市民ホール)
曲目/モーツァルト:アヴェ・ヴェルム・コルプス
J.S.バッハ:フルート・ソナタ BWV1031よりシチリアーノ
ジュナン:ヴェニスの謝肉祭 ほか
市役所を彩るオルガンとフルートの共演！ポジティブオルガンとフルートの澄み切った響き、多彩な音色に大きな拍手が贈られました。終演後に行ったポジティブオルガンの構造を知るミニ見学会も好評でした。



梅千野安未 [オルガン] × 上野由恵 [フルート]

2020
1/26 (日)

細川千尋 [ピアノ] ジャズトリオ
(山口まちづくりセンター ホール)
出演/細川千尋[ピアノ]、井上陽介[ベース]
セバスティアン・カプティン[ドラムス]
曲目/ビル・エヴァンス:ワルツ・フォー・デビ
ラヴェル:亡き王女のためのパヴァーヌ
細川千尋:ラヴェルの主題による「ジャズ」狂詩曲



細川千尋 [ピアノ] ジャズトリオ

2/8 (土) ■ 演芸バラエティショー
山上兄弟 [マジック]・鏡味よし乃 [太神楽曲芸]
(柳瀬まちづくりセンター ホール)



演芸バラエティショー

写真撮影(市民カメラマン)／由井一雄(12/13)、三平資郎(12/15、2/8)、佐藤清一郎(12/25)、滝島利男(1/26)

編集後記

寒かった冬も終わりに近づきもうすぐ4月。新しい学校や職場で新たな一歩を踏み出す方も多いのではないのでしょうか。所沢ミュージアムもリニューアル・オープンを目前に控え「何か新しいことにチャレンジしよう！」と決意！青を基調としていたミュージアのホームページを大リニューアル！！これまでよりも様々な公演や施設の魅力が皆様に伝わればと思っております。皆様ぜひ「所沢ミュージアム」で検索をしてみてください！！ちなみにプライベートではジム通いを始めました。いつまで続くかわかりませんが…。(M)

チケットのお求めは……ミュージアムチケットカウンター
04-2998-7777

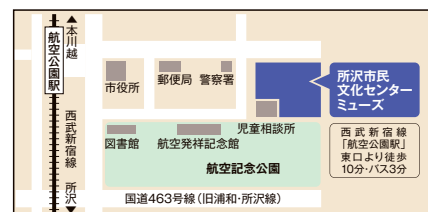
●窓口・電話予約10:00~17:00/第2・4火曜日は休業

●インターネット予約



クラシック・ポピュラー・演劇・寄席など多彩で魅力溢れる公演を開催しております！

詳細はミュージアムホームページでご確認ください。
<http://www.muse-tokorozawa.or.jp>



※公演情報は2020年2月26日現在のものです。曲目・出演者の変更やチケットが売切れとなる場合がございますので、ご了承ください。

次のインフォ・マートは5月15日発行予定です。どうぞお楽しみに。